

地域経済活性化に向けた SDGs 経営推進支援について

1 目的

米沢市では、令和3年にSDGs未来都市に選定され、その地域特性や地域資源を生かしながら、市民や事業者と連携のもと、環境・経済・社会の調和のとれた持続可能な地域経済圏の活性化を推進している。その取組の一つとして、地域事業者のSDGs/サステナビリティ経営推進の実装化を後押しするツールを作成し、当該ツールを活用することで、企業がインセンティブを得られるエコシステムの構築を目指す。

2 これまでの経緯

令和4年度に、中小企業や自治体のSDGs評価ツールに知見を有する日本工営(株)と市内企業数社の協力を得ながら、本市の地域事業者の経営状況をSDGs/サステナビリティ経営の観点から可視化・診断するツールのドラフト版の開発を行った。

3 今後の取り組み概要

(1) SDGs 取組み可視化・診断ツール(ドラフト)の本格版開発

令和4年度に開発したツールのドラフト版をもとに、地域事業者及び地域金融機関との協議の上、本格版を開発する。

(2) 米沢市 SDGs 取組み可視化・診断ツールの実証

(1)で開発したツールを地域事業者(約10~15社)及び地域金融機関と共に活用し、ツールの効果を検証する。

(3) (2)で開発したツールの効率的運用を目指した制度設計

市の既存のリソースと照らし合わせ、当該ツールを誰がどのように運営するのか等のエコシステムを設計する。この際、当該ツールを持続的、且つ効率的に運用していくことを念頭に、ツールのデジタル化も併せて検討する。

(4) ツール運用の実装

(3)の実装化及びデジタル化を行う。

4 スケジュール(案)

タスク名	6-7月	8-9月	10-11月	12-3月
(1) 初期合意形成				
(2) 要件整理				
(3) ツールの開発				
(4) パイロット導入				
(5) ツールの持続的運用の検討				

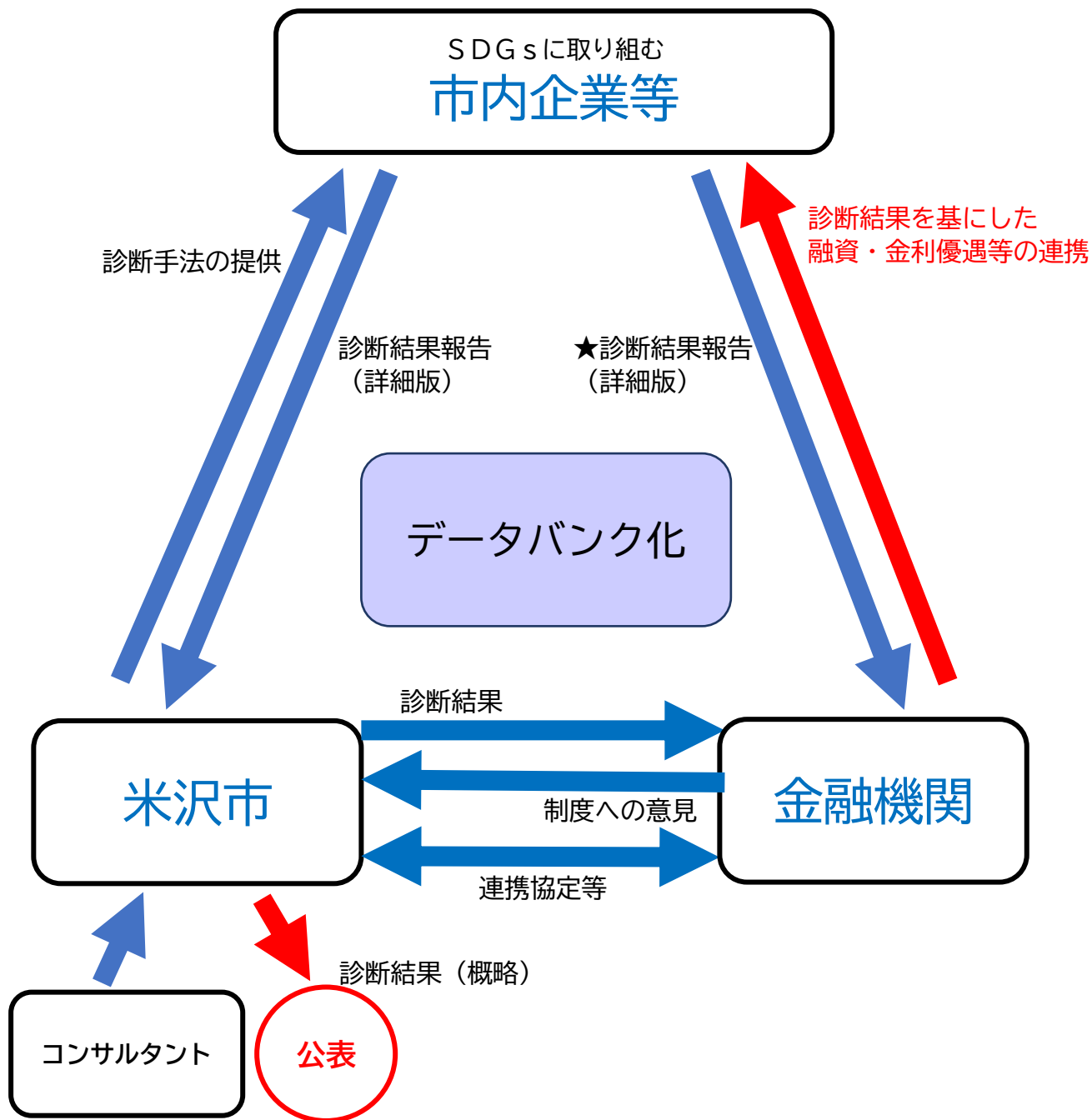
5 想定している協力者

(1) 地方金融機関

(2) 市内企業

(3) コンサルタント企業

令和5年度における金融機関との連携等に関するイメージ（案）



- 令和4年度実施内容
- ・ 診断手法の検討
 - ・ 数社を選定し試行 (Team Next Yonezawa と連携)
 - ・ 金融機関からの意見を聴取し制度を見直し